



「あいする」ほうをえらぶ

しゅよ、あなたのみちをわたしにしめし、あなたにしたがうみちをおしえてください。（しへん 25・4）



どちらにすればよいか、わからなくなることが、だれにでもあります。



よきサマリア人のように、こまっているひとをたすけることは、よいことです。



フランシスコきょうこうさまは、みんなきょうだいであることをおもいでして、イエスさまのおしえのとおり、おたがいにあいしあおうと、てがみにかきました。



サッカーのしあいで、ぼくたちはかかっていました。するとあいてのせんしゅが、わざとぶつかってきて、ぼくはころびました。



ぼくはなきながら、「はんそくだ」といいましたが、はんそくにならなかったので、あたまにきて、ぼくは、しかえしをしようしました。



でも、あいてのなかのイエスさまをみて、やっぱりやめました。しあいが終わったあとも、ぼくたちはともだちでした。

フランスのロベルトのけいけん